

令和2年度 第4回北海道 Society5.0 推進会議 開催概要

1 日 時

令和2年11月19日（木）10:00～12:00

2 実施場所

Web 会議（事務局・座長：札幌ガーデンパレス 4階 平安の間）

3 出席者

別添「出席者名簿」のとおり

4 議 題

別添「次第」のとおり

5 議 事

(1) 議事1 本日の会議について

・事務局（北海道）から説明（資料1）

(2) 議事2 道内自治体等との意見交換について

・事務局（北海道）から説明（資料2）

(3) 議事3 第3回会議の意見と反映状況について

・事務局（北海道）から説明（資料3）

(4) 議事4 意見交換 ～計画（事務局原案）について

・事務局（北海道）から説明（資料4・5）

【委員からの主な意見（計画原案全体について）】

- 策定趣旨に関して、「はじめに」の部分に北海道はこの Society5.0 に向かってどのような哲学、思想、考え方に基づいて進むのかをしっかりと書き込むべきである。

【委員からの主な意見（「暮らし」、「産業」、「行政」）】

- 国交相に対し、7月知事からJRの路線維持の要望・提言書が出されており、そこで北海道がチャレンジフィールドとして実験を進めたいといったことが言われていた。特に地方路線で維持管理や除雪といった部分で鉄道の自動運転の実証実験が出来ないか検討してほしい。
- ウェアラブル端末などから得られるヘルスケアのビッグデータを活用していく上で、医療の専門家と情報の専門家が共同研究を進める支援といったものがあると良い。
- 産業の項目において、これからAI等の台頭を考えるとデータセンターは不可欠。データセンターは膨大な電力を消費するので、北海道の再生可能エネルギーなどのポテンシャルをお活かしたデータセンターの誘致といったものを施策として書き込んで欲しい。
- 教育分野の指標について、GIGA スクール構想の実現により、あと数年で達成してしまうので、別の指標も記載するよう検討されてはいかがか。
- 教育に関しては、オンラインでどの地域においても高い水準で教育が受けられるという姿が目標としてよいのではないか。
- 都市部への一極集中を解消する方策について、ワーケーションといったような選択肢も含めて記述してほしい。
- 農業分野の指標について、所得が増えるというのが農家のモチベーションにも繋がるので一

番いいと思う。いい書き方が出来ないか検討してほしい。(生産コストの削減がこれだけ進むといったことも1つの指標たり得ると思う。)

- 各々の分野と IT ベンダーのような企業・人を繋ぐ人がいないとなかなか実装に至らない。繋ぐ人をどう作るかというのも重要な視点である。
- 基盤整備と人づくりで取組目標をもっとしっかりと整理した方がよい。人づくりは多様な人材を育成するという視点でそれを行う上で ICT を活用する、教育環境を整備するといった形で記載すべきである。
- 課題解決型ではない形で計画全体記載してほしい。
- 研究開発について、数値目標が件数となっているが、これは意味がない。中身と金額が重要なので、そのように記載できないか検討してほしい。

【委員からの主な意見（「データ利活用」、「基盤整備」）】

- 情報通信インフラの整備について、これが暮らし、産業など全てのベースになるということがイメージできるように基盤整備のメッセージを書いてほしい。例えば、道路や電気並みでインフラを整備するなど。
- オープンデータについて、ただ取り組むではなく、どう取り組むかという所まで踏み込んで書いてほしい。

【委員からの主な意見（推進体制）】

- 特段意見等なし

(5) 議事 5 今後の進め方

- ・事務局（北海道）から説明（資料6）